



れんげそう

令和5年7月3日
福生第五小学校
学校通信第551号

日光移動教室

校長 泉田 巧人

6月5日(月)～7日(水)までの三日間、6年生と栃木県の日光市に行ってきました。今年度の福生第五小学校の行事は、雨に悩まされていましたが、日光移動教室では、ナイトハイクに雨が降りましたが、日中は天候にも恵まれとてもすがすがしい三日間となりました。日光は、壮大な「華巖ノ滝」、「戦場ヶ原」の湿原、別名二荒山(ふたらさん)とも呼ばれている「男体山」、周囲約25km、最大水深163mの「中禅寺湖」等の豊かな自然に恵まれています。また、世界遺産の「日光東照宮」等の文化財や湧出量が豊富な温泉等、紹介しきれないくらいたくさん名所があり、観光地としてもとても魅力的なところでもあります。

新しい地域の歴史や特色、人々の思いなどに触れることは、学習への興味を引き出すことにもつながります。移動教室の経験は大きな学びとなるとともに、他の地域を知ること、自分の暮らしている地域を新たな視点で振り返り、我が地域の良さを改めて感じることもつながります。

初日は、足尾銅山に行きました。足尾銅山では、トロッコ電車で全長700mの薄暗い坑道に入り、坑内をタブレット型パソコンで写真を撮ったり、説明を読んでメモを書いたり、江戸から昭和にかけての採掘の歴史や仕組みなどを学びました。日光彫り体験では、日光独自の道具「ひっかき刀」の使い方に悪戦苦闘しながらも、思い思いの図柄を彫り上げていました。彫りあがった世界で一つの作品にみんな満足そうに微笑んでいました。

二日目は、戦場ヶ原のハイキングでした。今年度はネイチャーガイドさんに案内をしてもらいながら班行動を行いました。ネイチャーガイドさんからは、戦場ヶ原の湿原を様々な視点からの説明があり、楽しみながらも熱心に説明を聞いていました。午後の華巖ノ滝では、霧もなく壮大な滝を間近で感じる事ができました。栃木県立日光自然博物館では、班行動で館内を回りました。どこの学校よりも立派な態度で、日光の自然を学習することができていました。

最終日は、日光東照宮に行きました。最初に全員で「鳴竜」を見学し、神秘的な音の響きを興味深く聞いていました。その後は、班行動で話し合いながら「陽明門」や「眠り猫」、「三猿」等たくさんの国宝や重要文化財を実際に見て学習しました。

この三日間の日光移動教室での体験や協力、協働を通して、様々なたくさんのお話を学ぶとともに友情を更に深めることができたのではないかと思います。

移動教室が成功できたのは、子どもたちの努力はもちろんのこと、子どもたちの事を一番に考え、苦勞をしながら準備を進めてきた担任や、担任を支えてきた教職員の努力の成果であると思います。また、子どもたちの体調管理や心のケア、御準備、送り迎えなど保護者の皆様の御協力、本当にありがとうございました。

